

流域下水道事業 経営実行プランの取組状況について

1 要旨

流域下水道事業 経営実行プラン（以下「プラン」という。）の令和7年度の取組状況を報告する。

2 現状・背景

流域下水道事業の健全な経営を確保し、将来にわたって安全安心で適切な下水処理サービスを提供するため、令和5年10月に、今後の収支見通し（10年間：令和5～14年度）を踏まえ、収支改善や投資規模の最適化などの取組を実行するためのプラン（5年間：令和5～9年度）を策定し、流域関連市町と連携・協力しながら、取組を進めている。

目 標	目標指標 (KGI)	取 組
1 健全な経営の確保	1 経常収支比率 2 企業債残高対事業規模比率 3 流動比率	1 流域下水道への接続の推進 2 下水道資源の有効活用 3 スtockマネジメントの推進 4 新たな管理運営手法の導入 5 下水道DXの推進
2 安全安心で適切な下水処理	1 放流水の水質基準適合率 2 健全度の低い施設数 3 基幹施設の耐震化率	1 水質基準の遵守 2 スtockマネジメントの推進(再掲) 3 地震対策の推進

3 総括

- 令和7年度は、目標達成に向けて、概ねプランに掲げる取組を着実に実行した。
(主な取組)
 - ・ 各浄化センターの未利用地の一部を活用し、太陽光発電事業の導入に着手
 - ・ 下水道管路の全国特別重点調査（以下「重点調査」という。）の結果を加味した老朽化対策や全管路の耐震診断結果を踏まえた地震対策を取りまとめ、速やかに実行
 - ・ 管理運営の見直しに向けた、関係者協議を継続的に実施
 - ・ 管路等の施設情報を道路管理者や民間事業者などに対してオンライン閲覧を開始
- 目標指標 (KGI) については、達成に向けて概ね順調に推移している。

(1) 目標指標の状況 ※詳細は、別紙1のとおり

《目標1》健全な経営の確保

目標指標 (KGI)	R6 実績	R7 見込 ^{※1}	R7 実績	R9 目標
1 経常収支比率 (%) ^{※2}	100.6	100.7	100.2	100 以上
2 企業債残高対事業規模比率 (%)	171	152	151	160 以下
3 流動比率 (%)	101	94	98	100 以上

※1 R7見込は、プラン策定時 (R5.10月) の令和7年度の見込み
 ※2 経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示す指標。この数値が100%以上の場合は単年度黒字を、100%未満の場合は単年度赤字を示す。

《目標2》安全安心で適切な下水処理

目標指標 (KGI)	R6 実績	R7 見込 ^{※1}	R7 実績	R9 目標
4 放流水の水質基準適合率 (%) ^{※2}	100	100	100	100
5 健全度の低い施設数 ^{※2 ※3}	0	0	0	0
6 基幹施設の耐震化率 (%)	65	73	69	85

※1 R7見込は、プラン策定時 (R5.10月) の令和7年度の見込み
 ※2 令和9年度までに達成する目標ではなく、毎年度達成する目標値
 ※3 スtockマネジメントにおいて、機械・電気設備のうち、いつ機能停止してもおかしくない状況で、修繕では対応できないもの (健全度2)、機能を停止し直ちに更新が必要なもの (健全度1) の2区分を健全度の低い施設としている。

(2) 目標達成に向けた取組状況 ※詳細は、別紙2のとおり

項目		主な取組状況（令和7年度）	評価※
《目標1》健全な経営の確保			
取組1	流域下水道への接続の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広島県下水道事業広域化・共同化計画に基づき、市町等が概略検討や関係者協議を実施 ○ 5件のうち、1件は順調に進捗、4件が関係者との調整等に時間を要している 	遅れ
取組2	下水道資源の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ○ 東部浄化センターの消化ガス発電事業、芦田川浄化センターの汚泥固形燃料化事業を継続実施 ○ 東部浄化センターへの汚泥固形燃料化施設の導入可能性について、物価変動等、状況変化を踏まえた導入効果の検証が必要となったため、検討に時間を要している ○ 各浄化センターの未利用地の一部を活用し、太陽光発電事業の導入に着手、公募型プロポーザルにより最優秀提案者を決定 	概ね順調
取組3	ストックマネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 機械・電気設備の更新は、一部着手に遅れがあるが、36施設中、13施設の更新が完了し、4施設の更新に着手 ○ 芦田川流域の管路（L=340m）の更生工事に着手 ○ 重点調査結果を加味し、今後の老朽化対策を取りまとめ、鉄筋が露出し始めている箇所は断面補修を完了 	概ね順調
取組4	新たな管理運営手法の導入	<ul style="list-style-type: none"> ○ 管理運営の見直し方針の取りまとめに向けて、県の見直しの考え方を踏まえ、実施体制や地元事業者との協力関係などの検討事項について、関係者間で意見交換を継続実施 ○ 地元事業者との協力関係などについて、関係者との調整に時間を要している 	やや遅れ
取組5	下水道DXの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国が策定するデータの共通ルールが未定のため、国や他県の取組状況を踏まえた広域運転監視システム導入可否の検討に時間を要している ○ 令和6年度に電子化した管路等の施設情報をDoboXに掲載し、道路管理者や民間事業者などに対してオンライン閲覧を開始 ○ 水質自動制御システムの導入に向けて、効果検証するための、民間事業者による試験導入を実施しているが、データ蓄積が必要なため、時間を要している 	やや遅れ
《目標2》安全安心で適切な下水処理			
取組6	水質基準の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水量等の状況変化に応じた適切な汚水処理を実施 ○ 水質自動制御システムの導入に向けて、効果検証するための、民間事業者による試験導入を実施しているが、データ蓄積が必要なため、時間を要している（再掲） 	概ね順調
取組3（再掲）	ストックマネジメントの推進	取組3（再掲）	概ね順調
取組7	地震対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 処理場・ポンプ場は、一部着手に遅れがあるが、26施設中、18施設の対策が完了し、3施設の対策に着手 ○ 管路は、全管路の耐震診断を完了し、結果を踏まえた今後の地震対策を取りまとめ、芦田川流域の地震対策の設計に着手 	概ね順調

※ プランに対する進捗度を評価。複数の区分で構成する取組は、区分ごとに評価したうえで、5割以上が計画どおり進捗している場合は「概ね順調」、5割未満の場合は「やや遅れ」と評価。

4 今後の取組

引き続き、流域関連市町と連携・協力しながら、プランに掲げる令和9年度の目標達成に向けて、収支改善や投資規模の最適化などの取組を着実に実行していく。

別紙1 目標指標の状況

1 目標指標の状況

プランに掲げる目標指標は、令和9年度の目標達成に向けて概ね順調に推移している。

《目標1》健全な経営の確保

目標指標 (KGI)

- 経常収支比率は、100%以上を継続。
- 企業債残高対事業規模比率及び流動比率は、概ねR7の見込みどおり。

区 分	R6 実績	R7 見込 ^{※1}	R7 実績	R9 目標
1 経常収支比率(%) (経常収益/経常費用)	100.6	100.7	100.2	100 以上
2 企業債残高対事業規模比率(%) (企業債残高/営業収益)	171	152	151	160 以下
3 流動比率(%) (流動資産/流動負債)	101	94	98	100 以上

※1 R7見込は、プラン策定時 (R5.10月) の令和7年度の見込み

中間指標 (KPI)

- 汚水処理原価は、固定費の増により、R7の見込みと比べ増加した。
- 施設利用率は、汚水処理量の減少により、R7の見込みを下回った。
- 企業債残高は、企業債償還額が借入額を上回り、R7の見込みと比べ減少した。

区 分	R6 実績	R7 見込 ^{※1}	R7 実績	R9 目標
①汚水処理原価 (円/m ³) (維持管理費等/汚水処理量)	113.8	112.3	118.6	112 以下
②施設利用率(%) (汚水処理量/施設能力)	55.7	61.1	55.8	61.2
③企業債残高 (百万円)	12,012	12,200	11,529	12,863

※1 R7見込は、プラン策定時 (R5.10月) の令和7年度の見込み

《目標2》安全安心で適切な下水処理

目標指標 (KGI)

- 放流水の水質基準適合率及び健全度の低い施設数は、目標達成を継続。
- 基幹施設の耐震化率は、一部工事の遅れにより、R7の見込みを下回った。

区 分	R6 実績	R7 見込 ^{※1}	R7 実績	R9 目標
4 放流水の水質基準適合率(%) ^{※2}	100	100	100	100
5 健全度の低い施設数 ^{※2}	0	0	0	0
6 基幹施設の耐震化率(%)	65	73	69	85

※1 R7見込は、プラン策定時 (R5.10月) の令和7年度の見込み

※2 令和9年度までに達成する目標ではなく、毎年度達成する目標値

中間指標 (KPI)

- 放流水の水質は、目標達成を継続。
- 更新済みの施設数及び耐震化済みの基幹施設数は、一部工事の遅れにより、R7の見込みを下回った。

区 分	R6 実績	R7 見込 ^{※1}	R7 実績	R9 目標
④放流水の水質 (COD) (mg/l) ^{※2}	6.9	15 以下	7.0	15 以下
⑤更新済みの施設数	7	15	13	29
⑥耐震化済みの基幹施設数	17	19	18	22

※1 R7見込は、プラン策定時 (R5.10月) の令和7年度の見込み

※2 令和9年度までに達成する目標ではなく、毎年度達成する目標値

2 流域下水道事業会計の収支状況

- 損益収支は、維持管理費の減少に伴い、市町負担金も減少したことで、プラン策定時のR7の見込みと比べ、57百万円の減となり、5百万円のプラス。
- 資本的収支は、更新工事の一部を令和8年度に繰越したことなどから、建設改良費が980百万円減少したことで、プラン策定時と比べ、64百万円の増となり、855百万円のマイナス。(損益勘定留保資金等により補填)
- 資金収支は、概ねプラン策定時の見込みどおり。流域関連市町負担金は、維持管理費や建設改良費が減少したことで、プラン策定時と比べ、647百万円の減となり、5,654百万円となっている。

■ 損益収支

(単位：百万円)

区分	R6実績 (A)	R7見込※ (B)	R7実績 (C)	実績比較 (C-A)	R7比較 (C-B)	プラン策定時のR7見込 からの主な増減理由
営業収益 a	5,570	6,125	5,620	50	▲505	維持管理に係る市町負担金の減
営業費用 b	8,820	9,226	8,947	127	▲279	
うち維持管理費	4,744	5,277	4,856	112	▲421	電気料金等の減
うち減価償却費	4,053	3,950	4,055	2	105	償却対象資産の増
営業損益 c=a-b	▲3,250	▲3,102	▲3,326	▲76	▲224	
営業外収益 d	3,478	3,335	3,505	27	170	
うち長期前受金戻入	3,264	3,150	3,290	26	140	補助金を充当した償却対象資産の増
営業外費用 e	172	171	161	▲11	▲10	支払利息の減
経常損益 f=c+d-e	55	62	18	▲37	▲44	
特別損益 g	18	0	▲13	▲31	▲13	資産除却に伴う特別損失による減
損益収支 f+g	73	62	5	▲68	▲57	

■ 資本的収支

(単位：百万円)

区分	R6実績 (A)	R7見込※ (B)	R7実績 (C)	実績比較 (C-A)	R7比較 (C-B)	プラン策定時のR7見込 からの主な増減理由
資本的収入 h	2,608	3,571	2,656	▲48	▲915	
うち企業債	608	821	623	15	▲198	建設改良費の減による減
資本的支出 i	3,489	4,490	3,510	21	▲980	
うち建設改良費	2,299	3,384	2,404	105	▲980	更新工事の繰越等による減
うち企業債償還金	1,190	1,106	1,106	▲84	0	
資本的収支 h-i	▲880	▲919	▲855	25	64	

■ 資金収支等

(単位：百万円)

区分	R6実績 (A)	R7見込※ (B)	R7実績 (C)	実績比較 (C-A)	R7比較 (C-B)	プラン策定時のR7見込 からの主な増減理由
期首残高	834	826	851	17	25	
当年度資金収支	18.0	0	0.3	▲17.7	0.3	
期末残高	851	826	852	1	26	
企業債残高	12,012	12,200	11,529	▲483	▲671	借入額の減による減
流域関連市町負担金	5,583	6,301	5,654	71	▲647	維持管理費等の減による減

※ R7見込は、プラン策定時(R5.10月)の令和7年度の見込み

別紙2 目標達成に向けた取組状況【取組毎】

取組1 流域下水道への接続の推進

区分	進捗状況・評価	R8取組				
流域下水道への接続の推進 〔県営施設と市町等の施設の統合〕	<p><進捗状況></p> <p>○広島県下水道事業広域化・共同化計画に基づき、市町等が概略検討や関係者協議を実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>遅れ</th> <th>順調</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4件 (広島市、三原市、東広島市、安芸地区衛生施設管理組合)</td> <td>1件 (福山市)</td> </tr> </tbody> </table> <p><評価> 遅れ</p> <p>○5件のうち、1件は順調に進捗、4件が関係者との調整等に時間を要している</p>	遅れ	順調	4件 (広島市、三原市、東広島市、安芸地区衛生施設管理組合)	1件 (福山市)	市町等において進捗に応じた取組の実施
遅れ	順調					
4件 (広島市、三原市、東広島市、安芸地区衛生施設管理組合)	1件 (福山市)					

取組2 下水道資源の有効活用

区分	進捗状況・評価	R8取組
①消化ガス発電事業	<p><進捗状況></p> <p>○東部浄化センターにおいて、消化ガス発電事業を継続（事業開始：H31） 令和7年度消化ガス売却収益 174百万円 ※事業主体である民間事業者には消化ガスを売却</p> <p><評価> 順調</p> <p>○収益の確保に貢献している</p>	継続実施
②汚泥固形燃料化事業	<p><進捗状況></p> <p>○芦田川浄化センターにおいて、下水汚泥の固形燃料化事業を継続（事業開始：H29） 令和7年度費用削減額 359百万円 ※費用削減額はセメント原料への再資源化費用比較</p> <p><評価> 順調</p> <p>○コスト削減に貢献している</p>	継続実施
③新たな汚泥処理の推進	<p><進捗状況></p> <p>○東部浄化センターへの汚泥固形燃料化施設の導入可能性について検討</p> <p><評価> やや遅れ</p> <p>○物価変動等、状況変化を踏まえた導入効果の検証が必要となったため、検討に時間を要している</p>	継続検討
④未利用地の利活用の推進	<p><進捗状況></p> <p>○各浄化センターの未利用地の一部を活用し、令和9年度中の稼働に向けた太陽光発電事業の導入に着手</p> <p>○公募型プロポーザルにより最優秀提案者を決定</p> <p><評価> 順調</p> <p>○未利用地の利活用によるコスト削減に取り組んでいる</p>	県による整地工事及び発電事業者による太陽光発電設備の設置工事

取組3 スtockマネジメントの推進

区 分	進捗状況・評価	R8取組																	
<p>①機械・電気設備の更新</p> <p>〔令和9年度までの5年間で36施設の更新を実施〕</p>	<p><進捗状況></p> <p>○36 施設中、13 施設の更新が完了し、4 施設の更新に着手</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">R7年度末時点（延べ数）</th> </tr> <tr> <th>見込※</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>更新完了</td> <td>15</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>着手済</td> <td>11</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>未着手</td> <td>10</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>36</td> <td>36</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ プラン策定時の令和7年度末の見込み</p> <p><評価> やや遅れ</p> <p>○一部施設の着手に遅れがあるものの、更新が完了した施設は着実に増加している</p>	区分	R7年度末時点（延べ数）		見込※	実績	更新完了	15	13	着手済	11	4	未着手	10	19	計	36	36	<p>機械・電気設備の更新</p>
区分	R7年度末時点（延べ数）																		
	見込※	実績																	
更新完了	15	13																	
着手済	11	4																	
未着手	10	19																	
計	36	36																	
<p>②管路施設の更生</p> <p>〔令和9年度までに5.9 kmの管路更生を実施〕</p>	<p><進捗状況></p> <p>○芦田川流域において、管内の内面を補強する更生工事（L=340m）に着手</p> <p>○また、これまでの定期的な管路内調査に重点調査結果を加味し、今後の老朽化対策を取りまとめ、鉄筋が露出し始めている5箇所は断面補修による対策を完了</p> <p><評価> 順調</p> <p>○管路の状況に応じて、更生工事や断面補修等を実施している</p>	<p>管路の状況に応じた更生工事や断面補修等の実施</p>																	

取組4 新たな管理運営手法の導入

区 分	進捗状況・評価	R8取組
<p>新たな管理運営手法の導入</p>	<p><進捗状況></p> <p>○管理運営の見直し方針の取りまとめに向けて、県の見直しの考え方を踏まえ、実施体制や地元事業者との協力関係などの検討事項について、関係者間で意見交換を継続実施</p> <p><評価> やや遅れ</p> <p>○見直し方針の取りまとめを進めているが、地元事業者との協力関係などについて、関係者との調整に時間を要している</p>	<p>引き続き、関係者と丁寧に話し合いを進め、理解を得ながら早期に見直し方針を取りまとめ</p>

取組5 下水道DXの推進

区 分	進捗状況・評価	R8取組
①広域運転監視システムの導入	<p><進捗状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ○国が策定するデータの共通ルールの検討状況の情報収集 ○他県の取組状況を収集 <p><評価> やや遅れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国が策定するデータの共通ルールが未定のため、国や他県の取組状況を踏まえたシステム導入可否の検討に時間を要している 	情報収集の継続及びシステム導入可否の検討
②管路管理システムの導入	<p><進捗状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和6年度に電子化した管路等の施設情報をDoboXに掲載し、道路管理者や民間事業者などに対してオンライン閲覧を開始 <p><評価> 順調</p> <ul style="list-style-type: none"> ○行政手続などの簡素化・省力化を図った 	データ化した管路情報のオンライン上での活用を継続
③水質自動制御システムの導入	<p><進捗状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ○システム導入に向け、効果を検証するため、民間事業者による試験導入を実施 <p><評価> やや遅れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○効果の検証に必要な、水質などのデータを引き続き蓄積する必要があるため、時間を要している 	試験導入によるデータの蓄積及び効果の検証

取組6 水質基準の遵守

区 分	進捗状況・評価	R8取組
①水質基準の遵守	<p><進捗状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ○水量や水質の状況変化に応じた適切な汚水処理を実施し、水質汚濁防止法に基づく水質基準値内で放流している <p><評価> 順調</p> <ul style="list-style-type: none"> ○適切な汚水処理を実施している 	適切な汚水処理の実施
②水質自動制御システムの導入(再掲)	取組5 ③のとおり	試験導入によるデータの蓄積及び効果の検証

取組 7 地震対策の推進

区 分	進捗状況・評価	R 8 取組																	
<p>地震対策の推進</p> <p>〔基幹施設 26 施設の地震対策を実施 ※令和 9 年度末までに 22 施設完了予定〕</p>	<p><進捗状況></p> <p>○処理場・ポンプ場は、26 施設中、18 施設の対策が完了し、3 施設の地震対策に着手</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">R 7 年度末時点（延べ数）</th> </tr> <tr> <th>見込[※]</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対策完了</td> <td style="text-align: center;">19</td> <td style="text-align: center;">18</td> </tr> <tr> <td>着手済</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td>未着手</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: center;">26</td> <td style="text-align: center;">26</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ プラン策定時（R5.10 月）の令和 7 年度末の見込み</p> <p>○管路は、全管路の耐震診断を完了し、結果を踏まえた今後の地震対策を取りまとめ、芦田川流域の地震対策の設計に着手</p> <p><評価> 概ね順調</p> <p>○一部施設の着手に遅れがあるものの、施設の状況に応じて優先順位付けを行い、着実に対策を実施している</p>	区分	R 7 年度末時点（延べ数）		見込 [※]	実績	対策完了	19	18	着手済	3	3	未着手	4	5	計	26	26	<p>地震対策の推進</p>
区分	R 7 年度末時点（延べ数）																		
	見込 [※]	実績																	
対策完了	19	18																	
着手済	3	3																	
未着手	4	5																	
計	26	26																	